

現在位置 : [トップページ](#) > [日本の財政を考える](#) > 日本の借金を諸外国と比べると

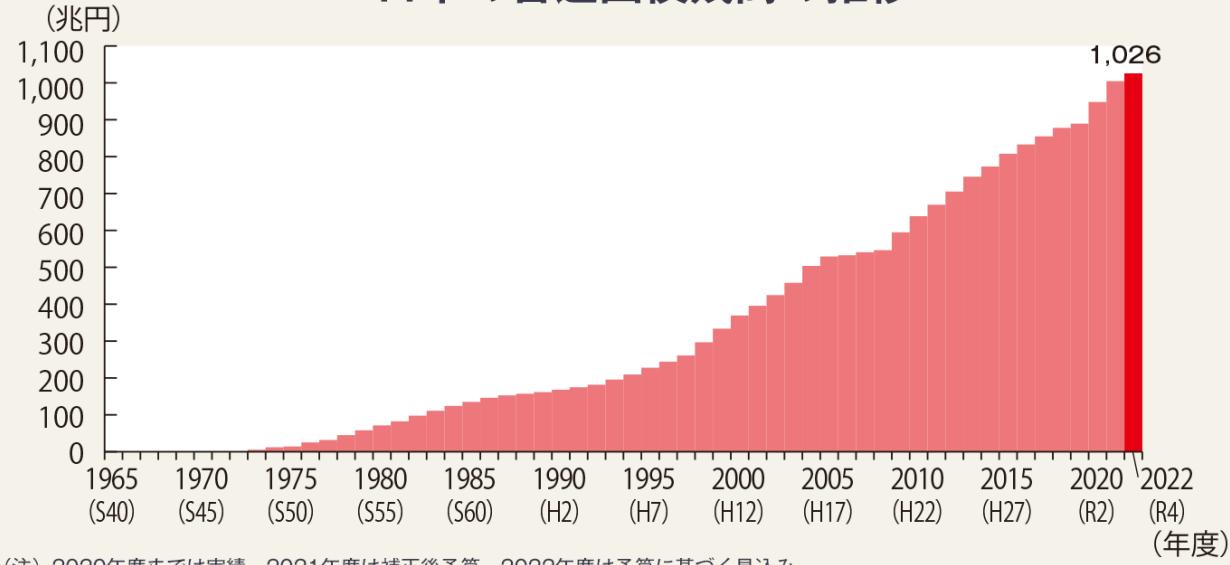
# これからの日本のために 財政を考える

## 4 日本の借金の状況

普通国債残高は、累増の一途をたどり、2022年度末には1,026兆円に上ると見込まれています。

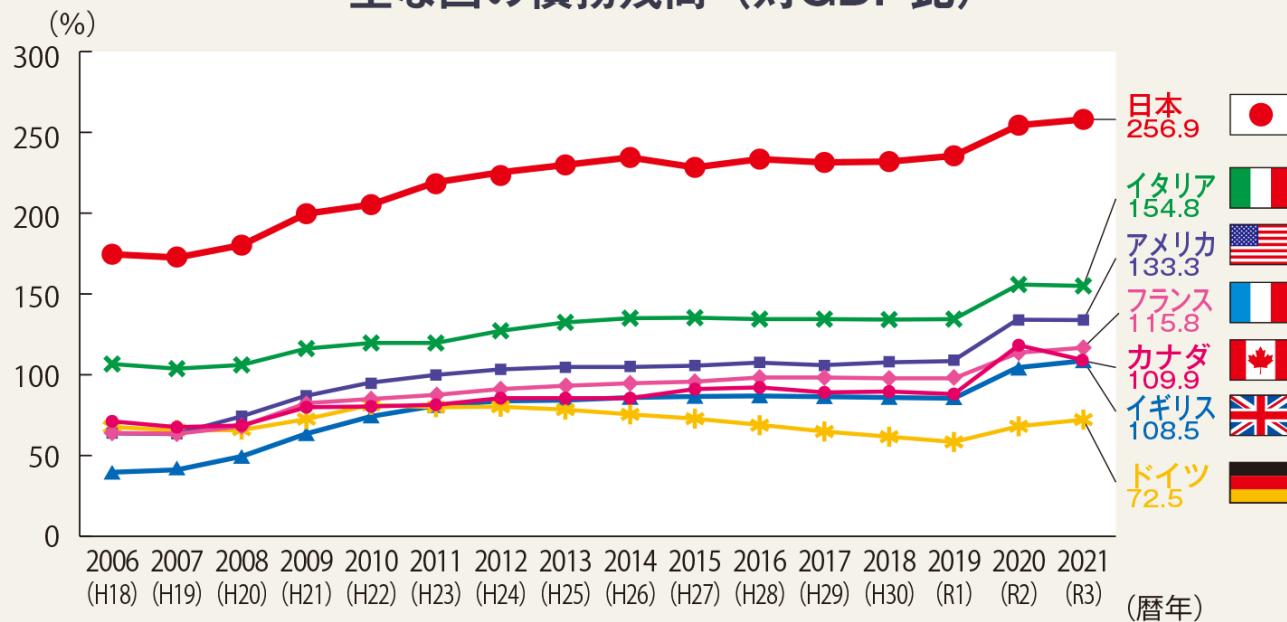
また、財政の持続可能性を見る上では、税収を生み出す元となる国の経済規模(GDP)に対して、総額でどのぐらいの借金をしているかが重要です。日本の債務残高はGDPの2倍を超えており、主要先進国の中で最も高い水準にあります。

## 日本の普通国債残高の推移



(注) 2020年度までは実績、2021年度は補正後予算、2022年度は予算に基づく見込み。

## 主な国の債務残高（対GDP比）



(出所) IMF "World Economic Outlook" (2021年10月)

(注1) 数値は一般政府（中央政府、地方政府、社会保障基金を合わせたもの）ベース。

(注2) 日本は2020年及び2021年、それ以外の国々は2021年が推計値。なお、2022年については、日本：252.3%、米国：130.7%、英国：107.1%、ドイツ：69.8%、フランス：113.5%、イタリア：150.4%、カナダ：103.9%と推計されている。

日本について令和3年度補正予算及び令和4年度予算によって見込まれる債務残高の増加が反映されていないことに留意が必要。